

令和3年度 福島県立ふたば未来学園高等学校 ドイツ連邦共和国代替徳島県上勝町研修業務委託仕様書

1 目的

この仕様書は、令和3年度福島県立ふたば未来学園高等学校ドイツ連邦共和国代替研修業務（以下、本事業）の交通・宿泊・旅行保険計画の立案、業務に関する基本的な事項を定め、この業務の円滑な実施を図ることを目的とする。

2 本事業の概要

本校一年時 SGH ドイツ研修では、平成 28 年度は地方創生イノベーションスクールの一環として、ミュンヘンの Ernst Mach Gymnasium 校と交流し、Think Green をテーマとし、2030 年に問題となる地域の課題と共通する世界的な課題についてアクションを提言した。また、平成 29 年度は前年度の取組を引き継ぎ、コンスタントの Wessenberg Schule 校と交流した。昨年度には、ミュンヘンの East Mach Gymnasium 校を訪問し、交流を行った。本校では、未来創造探究として、原子力災害からの復興や、持続可能な地域づくりの探究内容が、福島のための課題ではなく、全世界の共有する「持続可能な社会づくり」であると考えている。本年度 1 年次海外研修においては、ドイツの高校生と交流を図るとともに、ドイツの環境都市フライブルク等を訪問することにより、将来起こりうる世界の課題に向き合い、持続可能な社会をめざして未来を創造していく一歩とする。

これまで、SGH 事業における 1 学年次海外研修ではドイツ連邦共和国・フライブルク、ミュンヘン等を訪問し、環境先進国の取り組みを学ぶとともに、Ernst Mach Gymnasium 校との交流などを行ってきた。本研修は本校の学びの核の 1 つであり、学校全体が思考を深める重要な機会として位置付ける。

現在、新型コロナウイルスの鎮静化は見込めないため、今年度は渡航に代わり国内研修を行う。「ゼロ・ウェイスト（ゴミゼロ）」を掲げ究極の持続可能な地域を追求している徳島県上勝町のゼロ・ウェイストセンターを訪問し、スタディーツアーを行うと共に、地域住民と交流し意見交換を行う。

(1) 研修概要

① 派遣期間

令和4年2月2日（水）～2月5日（土） 3泊4日

② 参加予定人員

生徒 12名

引率教員 3名

③ 研修行程

月 日	行 程
2月 2日（水）	ふたば未来学園～徳島県上勝町へ移動 上勝ゼロ・ウェイストセンター「WHY」に宿泊
2月 3日（木）	上勝町フィールドワーク 合同会社パンゲア監修 上勝ゼロ・ウェイストセンター「WHY」に宿泊
2月 4日（金）	上勝町フィールドワーク 合同会社パンゲア監修 上勝ゼロ・ウェイストセンター「WHY」に宿泊
2月 5日（土）	徳島県上勝町～福島県立ふたば未来学園高等学校へ移動

(2) 研修内容

ドイツ連邦共和国短期研修で訪問予定であった、フライブルクのエコステーションに代わり、徳島県にて「ゼロウェイスト宣言」を掲げる上勝町の取り組みを学ぶ。上勝ゼロ・ウェイストセンターに宿泊し、3日間の研修を通して環境問題について学び、それらの成果をフライブルクのエコステーションスタッフと共有し、学びを深める。

3 委託内容

(1) 上記研修概要に基づく派遣場所への移動、宿泊に必要な手配を行うこと。

- ① 業務の実施に当たっては、行程において適切な指示を行い、業務全体が円滑に実施されるように十分留意すること。
- ② 添乗員は同行しないこととするが、現地で支障がないように手配を行うこと。
- ③ 旅行中の事故防止及び不測の事態における対処に最善の努力を講じること。
- ④ 航空会社はANA 便を利用すること。
- ⑤ 宿泊施設は、研修施設である上勝ゼロ・ウェイストセンター「WHY」を利用すること。
- ⑥ 滞在先での研修については、合同会社パンゲアと連絡・調整を行うこと。
- ⑦ 別紙「研修行程」に示す内容に関しては、福島県立ふたば未来学園高等学校と協議をしながら、訪問先と実施に向けた各種調整を行うこと。また、研修の所要経費等についても先方に確認し、委託費の中から支払うこと。

(2) 参加生徒及びその保護者、引率教員に対し、事前に「旅行のしおり」を配付すること。

4 成果品

(1) 福島県立ふたば未来学園高等学校ドイツ連邦共和国代替研修業務完了報告書

(2) 旅行等手配の内訳書（行程表、宿泊先手配、交通手段の手配、研修先の手配、宿泊者数、キャンセル料金等の根拠が分かる資料）（様式任意）

(3) 配付済の「旅行のしおり」

(4) 上記について事業完了遅滞なく福島県立ふたば未来学園高等学校へ提出すること。

5 契約内容の変更等

(1) 参加者数の変更等により、契約金額に変更が生じた場合は、変更契約を締結するものとする。

(2) 本仕様書に定められた業務内容の実施に当たっては、追加の費用負担が生じた場合においても、それが仕様を満たすために当然必要と認められるものについては、原則として受託者の負担とする。

6 その他

(1) 受託者はここに記載されていない事項についても現場の状況に応じ、誠意を持って対応しなければならない。

(2) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と受託者が協議して定めるものとする。

【別紙】研修行程詳細及び手配内容

日	研修行程	手配内容
2月 2日 (水)	福島県立ふたば未来学園高等学校—羽田空港—徳島空港—宿泊施設 夕方 宿泊先に到着予定 宿泊施設：上勝ゼロ・ウェイストセンター「WHY」	【貸切バス・飛行機】 【車内昼食15名】
2月 3日 (木)	朝食（宿泊先） 【午前】 株式会社 いろどり 見学 【午後】 日比ヶ谷ごみステーション 上勝町コミュニティセンター 夕食（上勝町内で取る）	【中型バス】
2月 4日 (金)	朝食（宿泊先） 【午前】 ゼロ・ウェイストセンター Food Waste を考えた昼食づくり 【午後】 地域の方々との交流 夕食（上勝町内で取る）	【中型バス】
2月 5日 (土)	朝食（宿泊先） 宿泊施設—徳島空港—羽田空港—福島県立ふたば未来学園高等学校	【貸切バス・飛行機】

※上勝町内のFWについては合同会社パンゲアに依頼する。